

大きなベッドの上 で愛のセックス 街のホテル

おっぱいが大きい女の子。

背丈の少し高い男の子。

バカカップルのレミナとモトヤは

星空の下でベッドの上で遊んでいた。

「・・・・・・・・次はどうやって遊ぶ??」

白いシーツと布団。

ツインベッドの上・・・・・・・・。

赤らんだレミナの頬。

まるでドラマのよう・・・・・・・・。

.....

.....

..... としておきたいところだが

ねっとり裸に体液を流し、汗まみれにな
って必死で肉体を重ね合わせていた……。

・・・それだけ。

「んふああああつ！！」

快樂のあまり・・・

それはまるで不思議なオカルト映画の

ようですらある。

まるでドラマのように。

作り物のような激しさ。

二人が夢中で肌を重ね合わせているそ

の大きなベッドは・・・

小さな海のようにすらあった。

・・・・・・・・・・。

少し前・・・近くの首都高を車がヘッド
ライトをつけて走っていた。

街は色々な経緯を変遷して二人がたどり着いた場所ともいえるものであった。

霧のように激しく燃え上がる二人の行為。

見えにくくもあるが・・・

鮮明に肌の色が見える・・・。

肌のキメまで・・・。

一方でベッドの四方に黒い炎が燃えているように

・・・情熱。

太ももとお尻を舐めるモトヤ。

布団の上に体重を乗せるがその物体の
反り返りがカラダを持ち上げる。

・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 。

首都高を都心へ向かう高速のネオンは

車のスピードを少し速めていた。

「終わったら、たっぷり買い物とか遊びに行こうねっ！！」

・・・・・・・・・・不慮の事故。

実は偶然にも

二人の過去は恋人をそれで亡くしたと
いう共通点があった。

裸で・・・・・・・・。

熱く燃え上がる。

悲しみの涙がレミナの乳房を伝う。

「ずっとジュルルルって・・・すごいの
っ！！」

.....。

首都高を下りた車はカーブを下っ
て・・・ホテルへと速度を速めた・・・。

受付で恋人レミナのお尻をさするモト
ヤの手は

いち早く上階入って二人で裸になるため・・・・・・・・

窓の外は寒さ。

全てに目もくれず没頭する二人…………。

狂気であった・・・・。

二人舐め合いながら出会ったとある場所が蘇（よみがえ）る。

ボランティアのグループだった。

しかしゲームなどレクレーションもする。

二人はそこで出会い・・・・・・・・

レミナはモトヤに膣内挿入される……。

そこはセックスなど全く縁のない団体。
しかしゲームや催し物、企画などをして
いるうちに親しくなり

ある日、帰りに近くのビジネスホテルに
流れのまま・・・・・・・・

(体験版は以上になります。ご読了あり
がとうございました)